

アゴラセミナー I で大阪府営公園フィールドワークを実施しました！

報告 地域志向教育 掲載日：2022年03月23日

■ 授業の概要・目的

CR副専攻コア科目であるアゴラセミナーIa/Ibは、5分野それぞれの教員が、普通の授業では出会えない「スゴイ現場とスゴイ人」に出会うようアレンジし、地域社会が抱える問題を、より幅広い視点から俯瞰することを目的としたオムニバス形式の科目です。

今回は、2022年3月1日に「地域福利」クールにおいて、4つの大阪府営公園を巡り、府営公園の指定管理者として管理運営を担う社会的企業の方々からお話を伺うフィールドワークを実施しました。

・担当教員 水内俊雄（都市研究プラザ教授）、TA 上田光希（文学研究科院生）

■ フィールドワークの概要

例年、水内が担当する「地域福利」クールでは、和歌山県の山村地域を訪問するフィールドワークを実施しており、今年度も当初は和歌山県の有田川流域及び高野山を訪問することを計画していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、和歌山県もまん延防止等重点措置の対象となったため、訪問先を大阪府内に限定することとし、以下のようなルートを設定した。

- ① 二色浜公園（貝塚市）
- ② 長野公園：長野地区および延命寺地区（河内長野市）
- ③ 久宝寺緑地（八尾市）
- ④ 住吉公園（大阪市住之江区）

①二色浜公園（貝塚市）

二色浜公園では、貝塚市史『貝塚市の70年』の編纂にかつて関わった水内が二色浜公園の整備の経緯を解説した。



二色浜海水浴場



公園と一体開発された阪神高速湾岸線

②長野公園：長野地区および延命寺地区（河内長野市）

長野公園の指定管理を担っている1社の株式会社ナイスの川井友二氏にお話しいただいた。川井氏からは「地域と共に育むまちづくり・公園づくり」と題して、公園という枠を飛び越えて地域の方々と共に取り組んできたイベント（奥河内.meフェスティバルなど）や、新型コロナウイルス禍による課題等を紹介いただいた。受講生からの質疑応答の後、長野公園長野地区及び延命寺地区を実際に歩き、長野公園の特徴等を解説いただいた。



川井氏による解説



長野公園 延命寺地区

③久宝寺緑地（八尾市）

久宝寺緑地及び住吉公園の指定管理を担っている1社の株式会社美交工業の福田久美子氏にお話しただいた。福田氏は、ビルメンテナンスを祖業とする同社がなぜパークマネジメント事業を開始したのか、なぜ障がい者雇用やホームレス等の就労支援に取り組み始めたのかという経緯、「広域避難場所及び後方支援活動拠点」としての取り組み等を紹介いただいた。その後、府営公園にぎわい施設第1弾として久宝寺緑地に設置されたコンビニエンスストア及び併設の公園インフォメーションスペースを解説いただいた。



福田氏による解説 久宝寺緑地



公園インフォメーションスペース

④住吉公園（大阪市住之江区）

引き続き株式会社美交工業の福田久美子氏に住吉公園での取り組みを紹介いただいた。1873年（明治6年）に開設された住吉公園は2023年に開設150周年を迎えるため、これにあたって発行している「歴史探訪」や、公園利用者が住之江公園や周辺地域を周遊することを促す無料レンタサイクルの取り組み等を伺った。



住吉公園での取り組みの紹介



住吉公園内を歩く

■ 所感

受講生からは、ただ遊ぶ場所だと思っていた公園が持っている地域資源としての力を知った、指定管理者制度について学びを深めたい、公園での活動を今後提案してみたいなどの声があった。大阪府内での実施に変更したことで、今回は奇しくも「地域福利」はもちろん、「地域活性」、「環境・防災」、「地理・空間」、「地域・文化資源」の各要素を持ったフィールドワークとなった。次年度のアゴラセミナーⅡにおいては、各クールでの学びを活かして、受講生たちが自ら地域課題を設定し、CR副専攻の集大成として成果を出すことを期待したい。